

事務事業名		国保診療所患者輸送車運行事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間	
	施策名	10 地域医療の充実				
	基本事業名	01 地域医療体制の充実			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成13 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令					予算科目 会計 款 項 目 事業 01 04 01 07 00 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1～4以外)	
所属	部課名	生活福祉部国保年金課			全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円)	
	課長名	佐藤 信一				
	係名	越喜来診療所	電話	44-2103		
	担当者	舞良 重徳	内線			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。 ・主な業務は、綾里、越喜来地区における患者輸送車の運行。 ・事業費の内容は、患者輸送車運行业務委託料、患者輸送車維持管理費(修繕費、燃料費)である。 ・東日本大震災により越喜来の車両が被災し、綾里地区の1台のみで運行していたが、地域住民からのバス復活を望む声が多く、平成24年7月に支援車両が配置となり、越喜来地区の運行が再開した。 ・平成8年度に購入した綾里診療所のマイクロバスが老朽化で運行に支障が出てきたことから、支援により車両を更新した。マイクロバスより小さいワゴン車に変更し効率的な運行に努めた。 ・平成28年10月から派遣医師による診療が開始されてからは、週1日の診療となった吉浜地域も勘案し、越喜来・吉浜間及び吉浜地域の運行を追加した。						
国庫支出金				事業費		0
都道府県支出金				人件費		0
地方債				延べ業務時間		0
その他				人件費計(B)		0
一般財源				トータルコスト(A)+(B)		0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

患者輸送車の運行(綾里地区週2回、越喜来地区週5日及び吉浜地区から越喜来診療所間の運行週2回、吉浜地区週1回)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

主に三陸地区の住民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

早期に適切な医療が受けられる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 患者輸送車運行日数	日
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 行政区域内人口	人
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 患者輸送車利用者数	人
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	5,937	5,465	4,710	5,900	5,900	5,900
			事業費計 (A)	千 円	5,937	5,465	4,710	5,900	5,900	5,900
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計 (B)	千 円	400	400	400	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	6,337	5,865	5,110	6,300	6,300	6,300	
⑤活動指標		ア	日	478	419	339	470	470	470	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	5,076	6,287	6,147	6,030	5,900	5,770	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	3,578	3,190	2,228	3,500	3,500	3,500	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0304	事務事業名	国保診療所患者輸送車運行事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・綾里診療所（開始当時は病院）、越喜来診療所の開設に伴い、患者の利便性向上を目的とする患者輸送車の運行を開始した。
※運行開始年度は不明である。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・東日本大震災にて越喜来診療所の車両が流出し、平成24年7月まで運行を中止していたため利用者数が一時減少したが、車両導入後は利用者数が増加した。
・平成26年度まではシルバー人材センターに委託していたが、派遣法により再委託ができなくなったため、27年度から民間派遣会社に委託を変更し事業費が増加となった。また、28年度からは派遣法の改正により、シルバー人材センターへの再委託が可能となったが、運転手の派遣の継続性の観点から、再度民間派遣会社への委託となった。
・従来は綾里・越喜来地区の運行だったが、平成28年10月に綾里・吉浜診療所で派遣医師による診療開始により、越喜来・吉浜間及び吉浜地区の運行も追加した。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

・高齢者など車で移動できない患者にとって無くてはならないものであり、このまま継続するよう求められている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 地域の医療ニーズに応えるべくこの事務事業を推進し、成果（病気の治療、健康の増進）をあげることで、市民一人ひとりの健康づくりの一環として重要な役割を果たしていることから政策体系と結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 三陸地区は交通機関が乏しく、診療所を利用する患者のほとんどは高齢者であり、いわゆる交通弱者であることからバスの運行は通院のきっかけとなる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 鉄道やバスはあるが、駅やバス停からの距離、本数の少なさなどを考慮すると、患者にとって必要な移動手段となっており、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 診療時間に合わせた時刻表となっており、このまま継続することが望ましいと思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 患者の大半が高齢者であり、公共交通機関が乏しいことから、廃止による影響は大きいと思われる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 運行业務を外部委託しており、時刻表も診療に合わせた設定としている。さらに、派遣医師での診療対応期間や常勤医師の招聘など、その都度、医療体制に合わせ適宜対応しているため、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 委託業務としているため、人件費は無い。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 運行业務は旧三陸町地区のみだが、公共交通機関の整備された旧大船渡市と比較し、行政が関与することによって均衡性が保たれることから、公平・公正である。

3 今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 今後も継続して事業を実施する。		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善（縮小・統合含む） 3 終了・廃止・休止	現状のとおり継続して事業を実施する。